

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年12月末時点）

多摩開墾における優良農地の維持・確保に向けた取組の推進				東京都武蔵村山市中原・残堀地区	
農家数 (認定農業者数)	331経営体 (24経営体)	農地面積 (うち農振農用地)	55ha (－ha)	主な農畜産物	野菜
農業地域類型	都市的地域	遊休農地	0.2ha	現状の集積率 (目標)	18.8% (検討中)

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・横田基地の隣に広がる広大な市街化調整区域内農地で多摩開墾と呼ばれている。優良農地として保全されているものの、生産基盤整備は不十分で施設化は一部に限られている。 ・農業者の高齢化等に伴い、近年は市内農業者だけでなく、近隣市町の農業者や農外からの新規就農者へ農地貸借も行われている。 ・今後も優良な一団農地として維持するためにも、10年後を見据えた方向性について地域で検討する必要がある。	・多摩開墾の優良農地の保全に向け、農地中間管理機構を活用して計画的に拡大希望の農業者等への効率的な農地の集積・集約を行うとともに、新たな担い手の確保を図る。



協議を進める過程で発生した課題	取組経緯(課題への対応)及び今後の予定
・意向調査は、1次調査(回収率77.5%)で農地所有者の将来の農地の利用意向、2次調査(回収率82.9%)で所有農地の1筆ごとの利用意向を調査した。 ・1回目、2回目の座談会を行った結果、農地所有者以外の市内外の借受者等へ、拡大希望等について追加の意向調査を実施すべきであるという課題が判明した。	令和5年 9月:意向調査の準備 10月～:意向調査実施・取りまとめ・現況地図作成 令和6年 2月:座談会1回目で地域計画の概要説明等 3月:座談会2回目で目標地図素案を用いた協議 7月:拡大希望等についての追加意向調査実施 8月:座談会3回目で地域計画・目標地図案作成 9月:担い手・関係機関への意見聴取、説明会 令和7年 2月:地域計画案の公告・縦覧予定 3月:地域計画を策定予定

